



道の駅オープンに向けて

■ ご当地食材による「あびらサンド」

道の駅のオープンに向けた安平町魅力発信事業の一環として、7月22日にみずほ館で「道新文化センター安平町応援特別講座」が開催されました。

地場産品のPRを目的とした今回の講座では、食のプロデューサーとして道内で活躍する青山則靖さんを講師に招聘。札幌圏から集まった30名の参加者が、町内産の生ハムやチーズ、トマトを用いた「あびら具たくさんサンド」や、菜の花油やはちみつを使用したマリネを作りました。

安平町の豊富な食材を前に参加者は大満足。今回発案された商品は、道の駅でのメニュー化について今後検討される予定です。



安平町産の具材たっぷりの「あびら具たくさんサンド」

■ 農産物直売所の運営協議

8月9日に、(仮称)道の駅あびら生産者協議会、一般社団法人あびら観光協会、町の3者が集まり、農産物直売所の運営に向けた検討項目と今後の協議スケジュールについて話し合いが行われました。

農産物直売所は、夏季と冬季で販売場所が変わることが想定されています。

そこで、売上管理システムの選定やシーズンごとの販売員数など、店舗運営に関わる項目を当面の優先事項として協議することが確認されました。

また、PRを兼ねた模擬販売等の取り組みの実施や道の駅のテイクアウト商品等への地場農産物の提供方法についても、継続的に検討していくことが確認されました。



会議では、様々な意見が交わされています。

■ 道の駅 現在の様子は・・・

6月29日に着工された道の駅建設工事は、現在までの約2か月間で杭打ちや掘削等の作業が順次進められてきました。

今後は、基礎部分の鉄筋と型枠を組み立て、コンクリートを流し込む工程へと進んでいきます。

建設現場では、柏が丘球場に隣接する出入口にバリケードを配置するなど、安全に配慮しながら工事が進められています。

今後とも、みなさんのご理解をよろしくお願いいたします。



平成31年春のオープンに向け着々と進む工事

道の駅運営推進員のご紹介

9月1日付で、辻長武(つじおさむ)さんが道の駅運営推進員に就任されました。

道の駅の開設に向けては、施設内の展示レイアウトの協議や営業コーナーの販売戦略の立案等、今後、様々な業務が予定されています。

辻さんには、長らく民間企業にお勤めだった経験を生かしていただきながら、施設のオープン準備の場面でご尽力いただきます。

現在は、追分庁舎内に席を置き業務を行っております。どうぞよろしくお願いいたします。

道の駅運営推進員の辻さん